

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586019701	科目番号 / Subject code	05860197
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12511_005		
授業科目名 / Subject	現代の教養 (文化と社会) / Culture and Society (Literature Philosophy History and so on)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	飯塚 知敬 / Iiduka Tomoyoshi, 牧野 一穂 / Kazuho Makino		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	飯塚 知敬 / Iiduka Tomoyoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	飯塚 知敬 / Iiduka Tomoyoshi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	iizuka nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部、610研究室		
担当教員TEL/Tel	2313		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日の4時以降		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	現代社会においては、生命倫理における諸問題のように、市民一人ひとりに具体的な選択が求められるケースが増えて行く。このような諸問題を、思想史の大きな流れの中で捉えないと、私たちの対応はその場しのぎのものになる恐れがある。この講義では、西洋思想史の大きな流れと、現代の具体的な諸問題を平行して学ぶことで、思想を私たちの生き方に役立てようとするものである。		
授業到達目標/Goal	1)、西洋の思想史の大きな流れを理解し、説明できる。 2)、生命倫理など現代の諸問題について、基本事項を理解し、説明できる。 3)、1)と2)を通して、時代認識や思想を自分の生き方に活かしていくための基礎を形成する。		
授業方法 (学習指導法) /Method	1)、西洋思想史 (奇数の授業時間) において西洋の代表的な思想家を取り上げ説明する。毎時間の終わりに、各自で基本事項の内容と自分の考え方をまとめ、提出する。 2)、現代の諸問題 (偶数の授業時間) において生命倫理などの具体的な問題を説明する。毎時間の終わりに、各自が問題を分析し、自分の立場をまとめ、提出する。 3)、思想史の授業 (奇数時間)、現代の諸問題の授業 (偶数時間)、それぞれにまとめの時間を設け、小テストを実施する。		
授業内容/Class outline/Con	1. ガイダンス。ソクラテス、アリストテレス 2. 生命倫理と人工妊娠中絶 3. 西洋中世の思想 4. 尊厳死と安楽死 5. デカルトとロック 6. エンハンスメント 7. 思想史のまとめと小テスト? 8. 現代の諸問題のまとめと小テスト? 9. カントとミル 10. 歴史学の問題 11. 社会契約論と人間像 12. 論理実証主義と科学 13. 思想史のまとめと小テスト? 14. 現代の諸問題のまとめと小テスト? 15. 時事問題		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	思想史 (奇数時間) の授業では思想の重要な点を理解し、それを自分の生き方に具体的にあてはめて考えてみる態度が必要である。このために授業の終わりに、各自が、内容をまとめ、自分の考えを書いて提出する。 現代の諸問題 (偶数時間) では、人権、政治、経済などの問題が複雑に絡むことを理解し、自分なりの態度決定を行うことが求められる。このため授業の最後に、各自の分析と立場を書いて提出する。 思想史、現代の諸問題におけるそれぞれのまとめと小テストの時間では、事項についての説明と、思想の主體的な展開を論述する。		
キーワード/Key word	西洋哲学・倫理学史、社会契約論、政治哲学、生命倫理学、尊厳死と安楽死、科学と方法論、		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	毎回の授業に資料を配布する。教科書は使用しない。参考文献等は授業の中で指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	毎回の授業での提出物と、授業への積極的取組 5割 小テストの評価 5割		
受講要件 (履修条件) /Requirements	西洋の思想史や現代の諸問題について、主體的に取り組むことができること。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/24		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586020101	科目番号 / Subject code	05860201
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12521_005		
授業科目名 / Subject	現代の教養 (自然の科学) / Natural Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh, 牧野 一穂 / Kazuho Makino		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kudoh nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館406号室		
担当教員TEL/Tel	内線2329		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業日の昼休み (事前または授業直後に予約があると確実)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	天文学の基礎を学び、現代の宇宙観を培う。		
授業到達目標/Goal	自分の住んでいる宇宙を自然科学的な視点から認識し、自分と宇宙とのつながりについて説明できることを目標とする。  より具体的には、 1. 宇宙の姿を理解し、自分の居場所を説明できる。 2. 宇宙の進化を理解し、自分の起源を説明できる。 ことを到達目標とする。		
授業方法 (学習指導法) /Method	同日の1校時と2校時とを1セット (1回) として実施し、その日のテーマに対して講義と演習を行う。  演習ではパソコン (主にエクセル) を用いる。第1回目から毎回の授業に、必ずパソコンを持参すること。(コンセントの数が足りないので、事前に100%の充電をしておくこと。)  演習は個人で行うが、受講生同士でわからない事を尋ねあったり、わかっている事を教えあったりしながら行うことが推奨される。演習を通して互いに理解を深め合い、全員が授業時間内にその日の目標を達成出来る事をめざす。  演習の成果は各自が (第3回目以降) 毎週レポートにまとめ提出する。提出されたレポートはLACSを通して受講生同士で互いに閲覧可能にする予定である。		
授業内容/Class outline/Con	宇宙の空間的な広がりや時間的な変化に関連した内容を中心に学ぶ。  第1回目に、宇宙にある天体の全体像を概観する。第2回目から第4回目は、地球に近い天体から個別に (太陽系、恒星や銀河系、銀河や銀河団について)、それらの距離や大きさなど空間分布について学ぶ。そして、第5回目には、宇宙の誕生から現在までの時間的変化の概要を学ぶ。第6回目に、恒星の種類について学び、第7回目には、恒星の一生 (生と死) と宇宙における物質循環について学ぶ。第8回目に、まとめと定期試験を行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前 (夏休みなど) に下記の推薦図書を読んでおく授業全般の予習となる。事後には、授業で学んだ内容を復習し、課題レポートを作成し期限までに提出すること。		
キーワード/Key word	宇宙, 銀河, 恒星, 惑星		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: なし  推薦図書: 「宇宙創成 (上・下)」サイモン・シン [著], 青木薫 [訳] (新潮文庫)  参考書: 「最新天文百科」マイク・シーズ, ダナ・バックマン [著], 有本信雄 [監訳] (丸善) 「超・宇宙を解く」福江純・沢武文 [編] (恒星社厚生閣) 「ゼミナール宇宙科学」戎崎俊一 [著] (東京大学出版会) 「理系のためのExcelグラフ入門」金丸隆志 [著] (講談社) 「新・天文学入門」嶺重慎・鈴木文二 [編著] (岩波ジュニア新書)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	到達目標を確認するための、課題レポート (10点x5回)+定期試験 (50点)=合計 (100点) の評価とする。合計で60点以上の評価を得た場合、合格となる。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	高校数学 (特に、指数、対数など) の基礎知識は必要である。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	この授業で学ぶ内容は、(皆さんの日常生活や専門分野において)すぐには役に立たないものばかりであると思います。しかし、皆さんが、今後の社会生活において困難に直面し、自分自身や人間社会のことをより深く考えることになった時に、この授業で培った宇宙観や宇宙的視点が、よりよい問題解決のための基礎力(教養力)の一部になると信じます。興味を持って楽しく学べることを願っています。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
2017年09月29日(金) 1, 2校時	宇宙の概要 目標: 宇宙の大きさと広がりを説明できる。 クイズ: 地球から近い順番に並べよ。 (1) 土星, (2) 北極星, (3) アンドロメダ銀河 演習課題 (PCソフトMi takaの使用法を学ぶ) ・地球を出発し宇宙の果てまで行って帰ってくる。
2017年10月06日(金) 1, 2校時	太陽系と惑星 目標: 太陽系の広がりや太陽系の天体の種類や性質について説明できる。 クイズ: 太陽系の惑星はどれ? (1) 月, (2) 海王星, (3) 冥王星 演習課題 (エクセルを使ったグラフの作成方法を学ぶ) ・惑星から太陽までの距離と公転周期との関係をグラフで確認する。
2017年10月13日(金) 1, 2校時	恒星の明るさと距離 目標: 恒星までの距離を求める方法を説明できる。 クイズ: 太陽から最も近い恒星までの距離はおおよそどのくらい? (1) 1 光年, (2) 1 天文単位, (3) 1 パーセク 演習課題 (授業後にレポートを作成して提出) ・恒星や銀河までの距離を観測データを使って求める。
2017年10月20日(金) 1, 2校時	銀河の構造 目標: 銀河系や銀河およびその集団 (銀河団) の形や大きさを説明できる。 クイズ: 銀河系の中心にある天体は? (1) 太陽, (2) ブラックホール, (3) オリオン大星雲 演習課題 (授業後にレポートを作成して提出) ・銀河系の中心から地球までの距離を観測データを使って推定する。
2017年10月27日(金) 1, 2校時	宇宙の誕生 目標: 宇宙には始まりがあった根拠を説明できる。 クイズ: 宇宙が誕生してから起こった出来事を時間順に並べよ。 (1) 宇宙の晴れ上がり, (2) ヘリウムの生成, (3) 星の誕生 演習課題 (授業後にレポートを作成して提出) ・宇宙の年齢を観測データを使って見積もる。
2017年11月10日(金) 1, 2校時	恒星の種類 目標: 恒星を明るさと色を用いて分類し恒星の大きさを説明できる。 クイズ: 太陽とは異なる種類の恒星はどれ? (1) 北極星, (2) おりひめ星[ベガ], (3) ひこ星[アルタイル] 演習課題 (授業後にレポートを作成して提出) ・恒星を観測データを使って分類する。

<p>2017年11月17日(金) 1, 2校時</p>	<p>恒星の生と死</p> <p>目標：恒星の一生と元素の起源を，物質循環に基づいて説明できる．</p> <p>クイズ：太陽の輝きを生み出しているエネルギーの源は？  (1) 核エネルギー，(2) 重力エネルギー，(3) 太陽エネルギー</p> <p>演習課題（授業後にレポートを作成して提出）  ・恒星（星団）の年齢を，恒星の進化理論と観測データを使って見積もる．</p>
<p>2017年11月24日(金) 1, 2校時</p>	<p>まとめ</p> <p>定期試験</p>

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/02/02		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586020501	科目番号 / Subject code	05860205
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12531_005		
授業科目名 / Subject	現代の教養 (芸術の世界) / The World of Art		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部・歯学部・工学部・環境学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kmakino nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	美術・技術棟216-2		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールでの予約をとること		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	芸術の、特に美術における『観ること』と、『表現』について学ぶ。		
授業到達目標/Goal	なぜ社会・個人に、芸術が必要なのか説明、表現ができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	芸術表現の諸相を軸に、授業を行う。また、実技を通して深く内容を理解する。		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	関係 芸術		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	適宜指示		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	5分の4以上の出席者を評価の対象とする。 提出(作品やレポートなど)60%、受講の姿勢40%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り 組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	講義中に使用する語彙から、具体的行為を想像するための抽象能力が必要です。実技を行うので、 準備が確実にできること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	諸芸術と絵画芸術?関係について		
第3回	諸芸術と絵画芸術?ゴヤの場合		
第4回	諸芸術と絵画芸術?模倣と剽窃		
第5回	諸芸術と絵画芸術?創作の苦しみ		
第6回	実制作?明度と彩度について		
第7回	実制作?基本形態 球		
第8回	実制作?基本形態 直方体		
第9回	実制作?複数の基本形態		
第10回	実制作?視点の変更と基本形態		
第11回	実制作?アンチームについて		

第12回	実制作?アンチームに則したモチーフ
第13回	グループワーク?新しい価値をつくるために
第14回	グループワーク?イノベーションのために
第15回	まとめ
第16回	